



【容環協 メールマガジン】



2017年6月 vol.11

【全国牛乳容器環境協議会】



今年の夏も猛暑が予想されているにもかかわらず、全国的に空梅雨で雨が少なく夏に向けて水不足が懸念されておりますが、熱中症にはくれぐれもご注意ください。

牛乳は多くの栄養素を含んでいるだけでなく、熱中症対策にも効果が高いともいわれております。是非、ご家族や友人の方たちにも積極的にお勧めしてください。



《トピック》

- ◆「エコライフフェア 2017」に出展しました。
- ◆「第7回 飲料用紙パック回収システム強化研究会」を開催しました。
- ◆「地域支部活動」をご紹介します！



●「エコライフフェア 2017」

6月3日(土)、4日(日)に代々木公園にて開催された「エコライフ・フェア 2017」(環境省主催)に今年も参加しました。2007年から継続して参加していますが、今年も、紙パックリサイクルに関するクイズ、手すきはがきづくり、使用済み紙パックを利用した小物作りをして、多くのご来場の皆様に紙パックについて、楽しみながら学んでいただくことができました。ワークショップでは、実際に牛乳を飲んでいただきながら、牛乳のお話(栄養価の高いことや熱中症にも有効で



あることなど)や DVD「牛乳パッコン探検隊」の視聴のあと、紙パックリサイクルのクイズに挑戦いただき、更に飲み終えた紙パックの手開きを体験していただきました。2日間を通して、「今までリサイクルしていなかったけど、今後は、洗って開いて乾かしてリサイクルします。」と、大変うれしいコメントをいただくことができました。

●「第7回 飲料用紙パック回収システム強化研究会」

6月6日(水)に、農林水産省・環境省・経済産業省・武蔵野市・さいたま市・川口市・スターバックスコーヒージャパンの他、関係者30名が参加し、東京のTKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて開催しました。この研究会は全国パック連(全国牛乳パックの再利用を考える連絡会)が、回収システム強化に向けた研究テーマの設定や参加者への参集のお願いなどのコーディネイトを行い、容環協と共催で実施しています。今回は武蔵野市、さいたま市、川口市より自治体での家庭からの回収についての取り組みについて、スターバックスコーヒージャパンより事業系リサイクルの取り組みについて、それぞれ基調講演いただきました。

自治体からは、主体的に市民がリサイクルに参加するためのコミュニケーションを課題としてご紹介されました。また、スターバックスコーヒージャパンからは、ミルクパックジャーニーという紙パックのライフサイクルを従業員に教育することにより日々の業務にリサイクルが定着するきっかけとなっていること、ご来店のお客様にもご理解いただくために紙ナプキンや紙おしぼりにも紙パックリサイクル製品を積極的に活用してコミュニケーションしていることなどが紹介されました。

●「ミルクフェア 2017」(一般社団法人 埼玉県乳業協会)

6月5日に埼玉県こども動物自然公園にて開催された「ミルクフェア 2017」の中で、一般社団法人埼玉県乳業協会のご協力によって、紙パックリサイクルの啓発が行われました。天候にも恵まれ、動物園の来場者も多かった上、例年通り搾乳体験スペースに出展でき、多くのお子さま連れのご家族に効果的に啓発することができました。

●容環協ホームページは適時アップデートしていますので、アクセスください。

<http://www.yokankyo.jp/>

ご登録の修正・変更につきましては事務局までご一報ください。

全国牛乳容器環境協議会 事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目14番19号

TEL 03-3264-3903 FAX:03-3261-9176

Mail info@yokankyo.jp (●を小文字の@に変更してください)

HP <http://www.yokankyo.jp>

